



発行 社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会

〒488-0074 尾張旭市新居町明才切57番地 保健福祉センター内 TEL 54-4540 FAX 51-1880

ホームページ <http://www.owariasahishakyo.jp/> 社協だよりやその他の社協情報はホームページでもご覧になれます。

# 尾張旭市の 赤い羽根共同募金



## 10月1日(木)全国一斉にスタート

▲昨年の街頭募金運動

令和2年度  
赤い羽根共同募金目標額  
**6,100,000円**

- 一般募金…………… 5,300,000円  
(内テーマ設定型募金…… 100,000円)
- 歳末募金…………… 800,000円



赤い羽根共同募金は、社会福祉法第112条の規定に基づいて、毎年1回、厚生労働大臣の定める期間内に行う寄付金の募集で、地域福祉の推進を図るための財源となります。尾張旭市共同募金委員会では、募金運動を10月1日(木)から令和3年3月31日(水)までの6か月間実施します。運動期間初日の10月1日(木)から順次、市内の各スーパーで街頭募金を行います。また、令和3年1月1日(金・祝)から3月31日(水)は、「障がいや疾患などにより移動が困難な方の外出手段支援」をテーマとして、社会福祉協議会が行う車いす貸出事業の充実を図るための募金運動を行います。

共同募金は、募金された地域の福祉事業に活用される、子どもから高齢者まで、さまざまな地域住民が参加できる最も身近な社会貢献の仕組みで、一人ひとりの善意によって「じぶんの町を良くするしくみ。」(中央共同募金会標語)につながります。

ぜひ、皆さんのあたたかい善意をお寄せください。なお、尾張旭市共同募金委員会事務局(社会福祉協議会内)及び市役所にも募金箱を設置していますのでご協力をお願いします。  
※新型コロナウイルス感染症の対策を取り実施いたします。



©中央共同募金会

### contents (主な項目)

- 赤い羽根共同募金
- 第72回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール
- ボランティアセンターからのお知らせ
- あさひ生活応援サービス
- 知るサポだよりNo.22
- 家庭介護教室
- 日常生活自立支援事業
- フードドライブ事業
- 寄付者一覧



## 質問1

『じぶんの町を  
良くするしくみ。』って  
どういうこと？

市内で寄付していただいた共同募金は、その募金をした市内の社会福祉協議会に約7割が配分され、様々な地域福祉事業に活かされることから、この標語がつけられています。

ぜひ市内での募金をお願いします。



## 質問2

共同募金は  
どのように行われて  
いるの？

### 【戸別募金】

市内の連合自治会、自治会、町内会を通じて、各世帯に赤い羽根と募金封筒を配布してお願いします。

### 【街頭募金】

市内のスーパーなどで、地域のボランティアのかたがたにご協力いただいて実施します。

### 【法人募金】

市内の企業や事業所に寄付を呼びかけています。

### 【職域募金】

市内の企業、団体、官公庁などの職場で、お勤めのかたにお願いします。

### 【学校募金】

市内の小学校の児童会や、中学校、高等学校の生徒会を通じて児童・生徒にお願いします。



## 質問3

共同募金は  
どのようなことに使  
われているの？

### 【地域福祉推進のために】

校区社会福祉推進協議会の活動支援／福祉のまちづくり推進助成事業

### 【高齢者のために】

高齢者趣味の作品展への協賛やシニアクラブ活動支援／ボランティア給食サービス事業／敬老肖像写真の贈呈事業／ふれあいいきいきサロンの活動支援

### 【障がいのあるかたのために】

点訳・音訳・要約筆記を行う団体の支援／行事の支援／施設への支援／おもちゃ図書館の運営

### 【子どもたちのために】

青少年健全育成団体の活動支援／社会を明るくする運動への支援／赤い羽根こころの文庫の設置／児童養護施設への支援／民間学童クラブの活動支援／子育てサロンの活動支援



### 【歳末たすけあいに】

要保護・準要保護家庭児童生徒への支援／養護施設入所児童生徒への支援

### 【共同募金運動推進のために】

共同募金用資材の購入費／PR活動費

### 【全地域の福祉推進のために】

社会福祉施設の整備費／社会福祉団体の事業費／募金運動推進活動費など

**共同募金の寄付には、  
税制上の優遇措置があります。**

### ◎個人の寄付

寄付金額によっては、所得税、住民税の寄付金控除の対象となります。

### ◎法人の寄付

株式会社などの法人の寄付は、全額損金扱いとなります。

※優遇措置の詳細につきましては、税務署にお尋ねください。

下記の二次元バーコードから、尾張旭市へ寄付ができたり、寄付金の使いみちを見たりすることができます。



尾張旭市共同募金委員会では、今年も市内小・中学校の児童生徒の皆さんから書道及びポスターを募集し、書道991点、ポスター281点の応募がありました。

そのうち、次の作品が尾張旭市文化協会会員の審査を経て、愛知県共同募金会への推薦作品に選ばれました。多数のご応募ありがとうございました。なお、推薦作品は11月2日(月)～11月20日(金)の間、尾張旭市保健福祉センターにて展示します。

## 書道の部(敬称略)



東栄小学校 6年  
高尾 みなみ



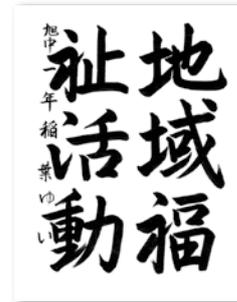
渋川小学校 6年  
桐生 美和子



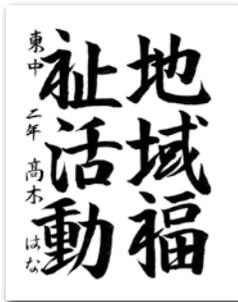
城山小学校 6年  
高田 圭真



白鳳小学校 6年  
平本 智嗣



旭中学校 1年  
稲葉 ゆい



東中学校 2年  
高木 はな



西中学校 3年  
高木 日葵

## ポスターの部(敬称略)



東栄小学校 2年  
老子 隆馬



瑞鳳小学校 2年  
水野 柚子



城山小学校 3年  
奥村 陽向



本地原小学校 4年  
城山 実央子



旭小学校 5年  
世古 瑞季



三郷小学校 6年  
丹羽 栞梨



東中学校 2年  
加藤 汐莉

# ボランティアセンターからのお知らせ

利用時間 午前9時～午後5時 ※土・日曜日、祝・休日を除く TEL 51-5535 FAX 51-5543  
尾張旭市渋川町三丁目5番地7 渋川福祉センター内

## ボランティア サロンのご案内



ボランティアセンターでは、ボランティア活動に興味をお持ちのかたや、すでに活動をされているかたを対象に「ボランティアサロン」を右表のとおり毎月1回開催しています。

### 申し込み及び問い合わせ先

渋川ボランティアセンター

### 〈11月・12月・令和3年1月のボランティアサロン〉

と き	11月19日(木) 午後1時～3時	12月10日(木) 午前10時～11時30分	令和3年1月20日(水) 午前10時～正午
と ころ	渋川福祉センター ボランティア室		
内 容	人づきあいに 役立つ傾聴	和紙のくるみ絵づくり ～干支のミニ色紙～	やさしい点字教室 ～絵本を点訳して みませんか～
講 師	うさぎの会	水野 道子さん	点訳グループ あかね会
定 員	15人	10人	10人

※定員を超えた場合は、抽選になることがあります。

## クッキングボランティア講座～家事場のちから～を開催します。



▲昨年度の講座(調理実習)の様子

住み慣れた尾張旭市で年をとっても安心して暮らしていけるよう、「クッキング」で私たちができていることを考えてみませんか。「クッキングボランティア」は、食事を通じて高齢者同士の交流や見守りに取り組むボランティアです。

講座では、シニア世代が気をつけたい食事について学び、お弁当の献立作成や調理実習を行い、クッキングボランティアの活動を体験します。実際に活動しているボランティアと話ができる交流会も予定しています。

と き	令和3年1月15日(金)・25日(月)・2月1日(月) いずれも午前10時～正午			
と ころ	保健福祉センター 201・202会議室、クッキングルーム			
内 容 ※原則全日参加	第1回	講義「日本食とお弁当」 ※講座内で骨密度を測ります。		
	第2回	演習 ①「3・1・2弁当箱法」 ②「献立作成」		
	第3回	調理実習・交流会		
講師など	講師 名古屋学芸大学 管理栄養学部管理栄養学科 修文大学 健康栄養学部管理栄養学科	教授 塚原 <small>たかよし</small> 丘美氏 講師 小島 真由美氏		
定 員	先着15人	参加費	無料	
申し込み方法	社会福祉協議会に電話または直接			

## 尾張旭おもちゃ図書館のご案内

おもちゃ図書館は、発育や発達に心配があるお子さんとその保護者がボランティアと楽しくおもちゃで遊ぶことで、お子さんの健やかな成長につながることを願って開館しています。

開催日時は毎週木曜日の午後1時～4時と毎月第4土曜日の午前10時～正午で、開催場所は渋川福祉

センター内です。

安心して利用いただけるよう、部屋の換気など、十分に新型コロナウイルス感染症対策を取って開館しています。ぜひ遊びに来てください。

また、おもちゃ図書館の運営をお手伝いいただく『おもちゃ図書館ボランティアぽっけ』と、おもちゃ図

書館へ遊びに来るお子さんたちに布おもちゃを作るボランティア『Toy Toy』の会員を募集しています。詳細は本会にお問い合わせください。





＼高齢者のちょっとした困りごとをお助けします！＼

# あさひ生活応援サービス

あさひ健康  
マイスター  
チャレンジ  
対象事業



## あさひ生活応援サービス事業とは？

ご高齢のかたが、住み慣れた地域でその人らしく安心した生活を送ることができるよう、日常生活上のちょっとした困りごとを解決することを目的とした、互助の精神を基調とする住民参加型の非営利の生活支援活動です。

## どんな援助が受けられるの？

家事援助、散歩等外出時の付添い、買い物、話し相手、安否確認など

※ただし、専門知識が必要な介護援助や、サポーターの車への同乗、本人に関わること以外の援助はできません。また、援助の時間は、最大で60分間です。

## どんな人が利用できるの？

援助を依頼できる人は、「尾張旭市内にお住いの概ね65歳以上の高齢者で援助の必要なかた」です。ただし、要支援または要介護認定を受けているときは、介護保険サービスの利用を優先したうえで、なお必要と認めた場合に限りです。

## どんな人が助けてくれるの？

本会に登録された「生活応援サポーター」です。

## 利用するとお金は支払うの？

援助1回あたり500円です。

## どんな「しくみ」なの？

利用にあたっては、本会のコーディネーターが、依頼者とサポーターの調整（マッチング）を行い、双方が事業の趣旨をご理解いただけるように、丁寧に説明いたします。

利用を希望される際には、コーディネーターにご相談ください。援助内容を確認のうえサポーターを紹介し、事前の打合せを行ってから、援助を受けられるしくみです。



▲刈り込み



▲粗大ごみの搬出



▲窓拭き



▲洗濯物たたみ

### ☆利用登録者から…

- ・サポーターの皆さんの笑顔がとてもいいです。
- ・ちょっとしたことができなくなり不便を感じていたので、助けていただいていた大変ありがたいです。

### ☆生活応援サポーターから…

- ・「ありがとう!」「感謝します!」と言われるとやりがいを感じます。
- ・感謝していただくと元気をもらえて、またお手伝いしたいという気持ちになります。



### 生活応援サポーターの登録をお待ちしています!

生活応援サポーター養成講座修了者・ヘルパー有資格者は、すぐに登録可能です。お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

生活支援コーディネーター業務担当(森島・鶴見・吉川) TEL 55-7071(直通)

# 知るサポだより

No.22

～尾張旭市地域包括支援センター～

## 高齢者虐待を防ぎましょう



高齢者虐待は、家族などの養護者が高齢者に対して行う次の行為とされています。

### ◎身体的虐待

暴力的行為などで、身体に傷やあざ、痛みを与える行為や外部との接触を意図的、継続的に遮断する行為

### ◎介護・世話の放棄・放任

意図的であるか、否かを問わず、家族などの養護者が介護や生活の世話を放棄または放任し、生活環境や身体・精神状況を悪化させる行為

### ◎心理的虐待

脅しや侮辱などの言語や威圧的な態度、無視、嫌がらせなどによって精神的、情緒的に苦痛を与える行為

### ◎性的虐待

高齢者にわいせつな行為をすること、または、わいせつな行為をさせること

### ◎経済的虐待

高齢者の合意なしに財産や金銭を使用し、高齢者の希望する金銭の利用を理由なく制限すること

高齢者虐待は、特別な家庭でのみ起こるものではありません。どの家庭でも起こりうる問題です。

本市における高齢者虐待防止の対応は、市役所長寿課と地域包括支援センターが連携し、関係機関な

どとの協力により行います。

「あれっ?」、「おやっ?」と感じたときは、地域包括支援センターにご相談ください。

## フレイルを予防して健康長寿



新型コロナウイルス感染症の感染予防のために、家で長い時間過ごしているかたも多いと思います。感染予防に気をつけながら、高齢期の健康を守ることが大切です。

### 《フレイルって何?》

生活の中で大きな不自由はないものの、心身が弱っていて介護が必要になる危険性が高い状態を指します。早い時期に生活習慣を見直すことで健康な状態に戻ることが可能です。

### 《フレイル自己チェック!》

- ・筋力(握力)が低下した
- ・6か月で体重が2～3kg以上減った
- ・体を動かすことが減った
- ・疲れやすくなった
- ・歩く速度が遅くなった

2つまで当てはまるかたはフレイル予備群、3つ以上当てはまるかたはフレイルの疑いがあります。

### 《フレイル予防の3本柱》

「運動習慣をもつ」「栄養価の高い食事をとる」「積極的に社会参加する」の3つを実践することが大切です。自宅や庭先で軽い運動に取り組みましょう。人混みを避けて限られたかたと一緒に散歩することは社会参加にもつながります。食事は筋

TEL 55-0654(直通)

肉維持に大切なたんぱく質を中心に毎日いろいろな食品を食べるように心がけましょう。

## 認知症の人の家族支援について

高齢化に伴い、認知症の人の数も増えています。たとえ大切な家族であっても、認知症状に振り回されるストレスに耐えかねているというケースは少なくありません。認知症の人を支える家族の気持ちは、認知症の進行に伴ってどんどん変わっていきます。

第1段階は「戸惑い・否定」の時期です。おかしい行動に少しずつ気づき始め、驚いたり戸惑ったりします。第2段階は「混乱・怒り・拒絶」の時期です。気持ちにゆとりがなくなって追い詰められる時です。認知症の症状に振り回されて精神的に疲労困ぱいし、本人を拒絶したり、怒ってしまったり、そんな自分に自己嫌悪を感じたりする時期です。第3段階になると、介護サービスの利用や信頼できる専門医に相談することで、少しずつ気持ちにゆとりが出てきて、「認知症という病気だし、怒ったり、イライラしても仕方がないか」と気付いたり、割り切ることができるようになります。第4段階では認知症によるストレスを受容できるようになっていきます。

ただし、認知症の進行に伴って、様々な症状が出る中で、ご家族の気持ちは4つの段階を行ったり来たりします。

地域包括支援センターでは、大変な思いで介護しているご家族の気持ちに寄り添いながら相談に応じ、負担軽減のための様々な方法を紹介しています。

ぜひご相談ください。

# 介護のヒントがここにある!家庭介護教室を開催します。

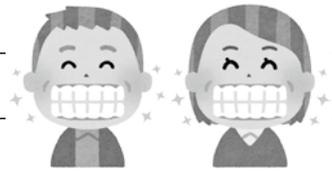


高齢者を介護されている家族などが、介護に関する知識や技術を学ぶとともに、介護の不安解消を図り安心のある生活を支援することを目的に開催します。

「介護のヒント」や「介護の不安解消」にぜひご参加ください。

## <開催日程表>

と き	11月7日(土)午前10時～正午
と ころ	保健福祉センター 201・202会議室
講 師	愛知医科大学 看護学部 准教授 荻野 朋子 氏
テ ー マ	ひとりで抱え込まない介護 ～「口の寝たきり」を防ぎましょう～
内 容	講義・演習
定 員	20人(先着順)
参 加 費	無料
申し込み方法	社会福祉協議会に電話または直接



# 判断能力に不安のあるかたに『日常生活自立支援事業』がお手伝いします

## ○対象者

福祉サービスを利用しているまたは利用予定のかたで、かつ認知症、知的・精神障がいなどの理由で、契約などの判断をすることやお金の出し入れ・書類などの管理が不安なかた

## ○援助内容

- ①福祉サービスの利用支援（利用料の支払い、手続きなど）
- ②日常的な金銭管理（生活費の出し入れ、公共料金の支払いなど）
- ③通帳や印鑑などの預かり

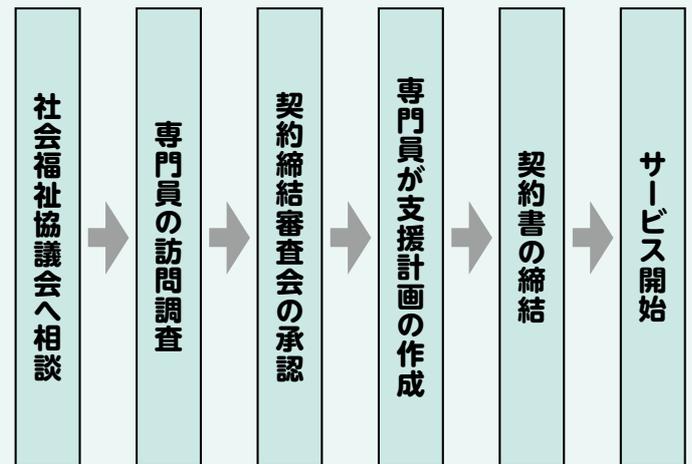
## ○利用料 1回1,200円

(ただし、③の支援は月額250円)

## ○申し込み及び問い合わせ先

社会福祉協議会

## <日常生活自立支援事業利用までの流れ>



- 担当の生活支援員が訪問して支援
- 支援回数は月に概ね1～2回

## 食品をご寄付いただき ありがとうございました!

6月22日～27日実施しました「ご家庭に眠っている食品大募集!(フードドライブ事業)」にご協力いただきありがとうございました。

6日間の募集期間で、たくさんの食品が集まりましたので感謝申し上げるとともに報告いたします。

ご寄付いただいた食品は6月29日(月)にフードバンク事業を担う認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋へ提供しました。

**集まった食品** 合計240kg(米58kg、米以外182kg)

## <ご寄付いただいた食品の種類と点数>

食品の種類	点数(点)
米	32
缶詰	50
インスタント食品、レトルト食品	44
調味料各種	51
乾物(乾麺、海苔、豆など)	53
飲料(お茶、ジュース、コーヒーなど)	49
その他	43
合 計	322

次回は、令和2年12月14日(月)～12月19日(土)を予定しています。引き続きのご協力をお願いいたします。

## 新型コロナウイルス感染症に伴う社会福祉協議会の事業（関係団体含む）について

新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、講座など各種事業を行う際に様々な予防対策を行いますが、今後の状況の変化によっては開催の内容を変更、延期または中止する場合があります。予めご承知おきください。

※記載の内容は記事編集時点のもので、最新の情報は、本ホームページをご覧ください。

## 社協だより夏号掲載記事の訂正とお詫び

社協だより夏号(令和2年7月発行)に掲載の「サロン活動紹介」の記事で、サロン名に誤りがありましたので訂正し、お詫びいたします。

誤 サロン“ふあんふあん” 正 カフェふあんふあん

## 「社協だより尾張あさひ」〔広告掲載のご案内〕

社会福祉協議会の広報紙「社協だより 尾張あさひ」に広告を掲載していませんか？

令和2年度冬号(令和3年1月発行)に掲載の広告を募集します。

**募集期限は、11月13日(金)までです。**

広告の掲載は有料です。広告掲載に関する詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先

**社会福祉協議会**

※広告の1枠の大きさは、縦6cm、横8.5cmです。ただし、2枠、4枠分の大きさで掲載することもできます。

## 善意のご寄付ありがとうございます

「福祉に役立ててください」と、たくさんの善意が寄せられています。皆さんにご報告するとともに、厚くお礼申し上げます。 7月1日～9月4日 (順不同)

### ■一般寄付

寄付者名/寄付金額(単位:円)	
ユニー(株) ピアゴ印場店“小さな善意で大きな愛の輪”運動 様 (庄中町)	9,863
戸谷 圭佑 様 (井田町)	300,000
武内 榮子 様 (南原山町)	5,000
小川 宅郎 様 (旭前町)	10,000
匿名(7件)	1,358,120

### ■物品寄付

寄付者名/物品名	
イトーヨーカドー尾張旭店 様 (南原山町)	雑貨28点
大谷 宏 様 (霞ヶ丘町)	紙オムツ4袋、尿とりパッド1袋
連合愛知尾張東地域協議会 様 (三郷町)	非接触式温度計2台
武内 榮子 様 (南原山町)	紙オムツ1袋、尿とりパッド1袋
匿名(6件)	紙オムツ24袋、尿とりパッド14袋、手指消毒液12本

※物品の状態によっては受け取りできない場合がありますのでご了承ください。

## 地震補強

地震は必ずきます。  
木造以外でも、住宅以外でも  
古くなくても、診断します。  
構造設計の専門家による、  
お値打ちな補強です。  
備えあれば、出費少なし。



株式会社 大基(ダイジン)  
尾張旭市城山町三ツ池6073-5  
TEL0561-52-3352 Fax0561-51-6080

こんなとき、こんなお金をぜひ、

## 社会福祉協議会へご寄付を!!

- 福祉のために役立てようと思ったとき
- 会社や商店の開設、開店などの記念事業の一部
- お祝い事、香典の一部
- 同窓会などの残金、各種チャリティーバザー

### 慶弔のお返しを福祉のまちづくりに

社協では、香典返しの一部をご寄付いただいたかたに対し、礼状と封筒の作成、宛名書きをいたします。詳しくは、お問い合わせください。